

2020年12月22日



一般社団法人 日本スーパーマーケット協会

2020年11月 マンスリー レポート

集計企業数 55 社

①売上高・前年同月比

	全店			既存店	
	売上高	構成比(前月)	前年同月比(前月)	売上高	前年同月比(前月)
総 額	58,752,645 万円	100.0%	104.1% (104.6%)	56,925,663 万円	102.9% (103.5%)
食 料 品	50,275,693 万円	85.6% (86.2%)	104.9% (104.8%)	48,815,912 万円	103.5% (103.5%)
農 産	7,357,136 万円	12.5% (13.6%)	105.6% (108.7%)	7,146,134 万円	104.1% (107.4%)
水 産	4,645,690 万円	7.9% (7.9%)	105.2% (106.7%)	4,510,478 万円	103.6% (105.2%)
畜 産	6,869,462 万円	11.7% (11.5%)	106.7% (106.8%)	6,663,126 万円	105.1% (105.4%)
惣 菜	5,790,515 万円	9.9% (10.0%)	102.2% (103.4%)	5,597,256 万円	100.5% (101.7%)
日配食品	11,283,836 万円	19.2% (19.6%)	104.0% (103.6%)	10,963,113 万円	102.6% (102.4%)
加工食品	14,329,054 万円	24.4% (23.8%)	105.5% (102.9%)	13,935,805 万円	104.3% (101.6%)
生活関連	3,635,945 万円	6.2% (6.0%)	106.7% (107.6%)	3,544,865 万円	106.2% (107.1%)
衣 料 品	1,475,078 万円	2.5% (2.4%)	87.2% (99.9%)	1,431,416 万円	87.9% (100.7%)
そ の 他	3,365,929 万円	5.7% (5.3%)	97.4% (100.5%)	3,133,470 万円	97.9% (100.4%)

② 数 値

全店総売上高	58,752,645 万円	店舗数	4,863 店舗
総売場面積	9,512,248.0 m ²	総従業員数	261,759 人

店舗平均月商	12,081.6 万円	平均客単価 (前年同月比)	2,047.5円 (107.2%)
月間m ² 売上(前月)	6.2 万円 (6.3万円)	平均売場面積	1,956.0 m ²
月間坪売上(前月)	20.4 万円 (20.8万円)	パート比率(前月)	76.9% (76.8%)

注) 総従業員数・・・パート・アルバイト数は、8時間換算しています

《 全体概況 》

- ・ 11月の天候について、気温は全国的に高く、東日本と西日本、沖縄・奄美でかなり高くなった。降水量は東日本の太平洋側でかなり少なく、日照時間は北日本を除いて全国的に多く、東日本の日本海側でかなり多くなった
- ・ 生鮮物の相場状況について、農産物は、野菜は月末に向けて卸売価格が下がり、果物はやや高めに推移した。水産物の卸売価格は前年並みとなり、畜産物では豚肉が、乱高下がありながらも全体としては高値で推移、鶏肉は高値であった。
- ・ 前年に比べ金曜、土曜日が1回少なく、月曜、日曜日が1回多い曜日回りであった。祝日は1日多かった
- ・ 新型コロナウイルス感染症は、全国1日当たり新規感染者数は4ケタの日がほとんどで過去最多の感染者数更新が続いた。一部の都道府県では、外出自粛要請や飲食店の時短営業要請が出された。引き続き、客数減、客単価増、買上点数増が続いている

《 商品動向 》

○農産

- ・ 菌茸類やジャガイモなどの土物類、果菜類が好調であった
- ・ 前月までの高値から相場安に転じた影響により、白菜やレタスなどが不調であった
- ・ 国内果実では食味良好であったミカンが非常に好調であったほか、柿やリンゴが好調、輸入果実ではバナナが好調であった

○水産

- ・ ブリが産地応援での販促や相場安などにより切身、刺身用ともに好調となったほか、鯛や生鮭が好調であった
- ・ 水産部門で取り扱いをしている寿司が好調であったとのコメントが多くみられた

○畜産

- ・ 牛肉、豚肉、鶏肉、挽肉ともに好調であった
- ・ 用途別ではしゃぶしゃぶ用や鍋材料が好調であった

○惣菜

- ・ 新商品や企画品としての弁当が好調であった
- ・ 旬の食材として訴求をしたカキフライが好調であった
- ・ 惣菜部門で取り扱いをしている寿司は好・不調が分かれる結果となった

○日配食品、加工食品

- ・ デザートやアイスクリーム、ヨーグルト、そのほか冷凍食品が好調であった
- ・ 麺や漬物、練り製品が好調であった
- ・ 内食需要で鍋つゆや調味料が好調であった
- ・ 地域の気温の影響により、飲料は好不調がわかれた
- ・ キャラクターの人気により、クリスマス関連が好調とのコメントがみられた

○「ボジョレー・ヌーボー」の動向について

- ・ ダウントレンドで予約販売が不調であった一方、コロナ禍の家飲み需要もあり店頭販売は好調であった
- ・ 関連品ではパスタやチーズが好調であった

○「コロナ感染拡大第3波下」における商品動向の変化について

- ・ 内需傾向は続いており、衛生用品も引き続き好調に推移した
- ・ クリスマスケーキ、おせちの予約が好調であった